

## 浜松観光ボランティアガイドの会

### 2021年度・新人養成講座に20名が受講

当会主催の2021年度「はままつ案内人新人養成講座」が1月17日から始まりました。毎週月曜日の午前10時から12時まで、全6回のスケジュールです。本号では前半3回分を記載します。今年度は会場を可美公園総合センターの研修室に移して開催しました。当初、受講申込者は定員をオーバーしていましたが、最終的には定員の20名（男性14名、女性6名）が受講しました。例年に比べて受講申込者が多かった理由は、募集チラシを9月に作成して例年より早めに宣伝活動を行ない、申込方法を従来のファックスに加えて電子メールとWEB申込フォームを追加したことによると思われます。

#### 【第1回・1月17日】

事務局長の鈴木猛二さんが本講座の日程の説明、及びボランティアガイドの会について説明しました。次に会長の大村真佐夫さんが「会員は浜松市の観光振興、観光資源保護に理解と情熱を有する人になっていただきたい」とのあいさつに引き続き、会の発足から現在に至る歴史、会の組織と役割、常駐ガイドとふるさと講座、出前講座等の当会の活動を詳しく説明しました。

休憩後、昨年度受講した23期の長谷川幸夫さん（中ブロック）と前原福子さん（西ブロック）が新人体験談として「当初は分からないことばかりで心配でしたが、段々と慣れてきて今では案内することが楽しくなりました」「入会動機は新しいことに挑戦することでした。浜松の歴史を勉強できて、自己啓発のためにも有意義です」「同期で『浜観ガイドひよこ会』を作り横のつながりで情報交換しています」等話をしました。その後、大村会長が「浜松の地形の変遷」を講義しました。NHKの人気番組ブラタモリでも紹介があった天竜川の地形についての内容に受講者は興味深く、熱心に聞いていました。



新人体験談

長谷川さん

前原さん



「浜松城内展示」の説明

をテーマに講義しました。浜松城を説明するためにパワーポイントの30ページに及ぶ力作の資料を写して詳しく説明しました。昨年のリニューアル後の浜松城の展示ポイントの全容をスムーズな説明で行い、受講者にとって分かりやすいものであったと思われます。

#### 【第3回・1月31日】

浜松市文化財課・埋蔵文化財グループの和田達也氏に「浜松城の歴史と魅力」をテーマに特別講義していただきました。前半は浜松市の豊富な文化財の概要を、後半は浜松城の歴史として引間城から明治時代の廃城を経て現在までを、そして、浜松城の魅力については「①重層的な歴史が詰まっている②登場人物が有名③織豊系・近世城郭の教科書のような城④良好な状態で残る石垣⑤地中には城の証拠が良好な状態で埋まっている⑥まだわからないことが多い」の6項目をまとめとして理解しやすく講義していただきました。

#### 【第2回・1月24日】

研修副部長の杉本忠久さんが「家康時代の武具あれこれ」をテーマに講義しました。最初に家康が浜松に在城していた時代の4回の大きな戦いを説明し、この合戦に使われたであろう武器として弓矢、槍、鉄砲、太刀、礮等を図で詳しく解説しました。槍の話の時には「黒田節」を美声で披露して、ユーモアを交えて説明しました。持参の模造刀でサムライになりきって、刀の抜き差し方法も実演しました。

休憩後、研修部員の益田啓子さんが「浜松城内展示」



「浜松城の歴史と魅力」の特別講義

## 浜松城等でのガイドに対する小学生からの礼状紹介

当会の浜松城、犀ヶ崖資料館、浜松まつり会館等での観光ガイド活動の中で、浜松市内外小中学校の校外学習に対する支援活動も大きなボランティア活動の一つです。そのうち昨年の浜松市立小学校の来訪件数は、コロナ禍の影響（8・9月活動休止等）があるものの浜松城（28件）、犀ヶ崖資料館（13件）、まつり会館（7件）と48件でした。来訪後の礼状も多くいただいておりますが、活動のさらなるはげみになればと思い数校からの礼状を紹介します。

### 【浜松城でのガイドに対する礼状（井伊谷小学校6年生）】

先日は、本校6年生のために浜松城について大変興味深いお話を聞かせていただき誠にありがとうございました。授業では学ばない詳しいお話が聞け、子供たちも大変興味を持ったようです。今後も歴史への興味を高め、歴史好きな子供になって欲しいと思います。お忙しい中本当にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。（M先生）

浜松城のすごさやいえやすのことやいろいろな歴史を知ることができました。浜松城をなおす（復興する）のにたくさんの人や会社が協力をしてたくさんのお金を出してくれたことがあった。知らなかったこともたくさん教えてくださいありがとうございました。（Hさん）

浜松城の何から何まで教えていただきありがとうございました。3階のけしきやむかしとくがわいえやすが、何をやったかがわかるえいぞうが、ぼくのおきにいりです。（Tさん）

浜松が何故出世城と呼ばれたかや石がきの積み方などを教えていただきありがとうございました。とても勉強になりました。またき会があったら行ってみたいです。（Sさん）

今回は、浜松城の周りや中を説明しながら教えてくれてまことにありがとうございました。浜松城のクイズなどもすべては解けなかったけれど楽しく元気に中や外を周ることができました。そして展望台からはとてもきれいな景色をみることでとてもすずしかったのでかいてきでした。井戸が浜松城の中にあっただのがとてもおどろきました。（Iさん）

私が話の中で心にのこっていることは、石がきの作り方でした。昔の人は、石を海にうかべて運ぶ方法を生活する中で知っていたことにはとてもおどろきました。（Tさん）

### 【浜松城・犀ヶ崖資料館でのガイドに対する礼状（篠原小学校6年生）】

先日は、徳川家康公や浜松城・犀ヶ崖について教えていただきありがとうございました。家康が浜松城にいた17年間は、三方ヶ原合戦や築山御前や信康を殺すなど、戦国時代はつらいなと思いました。そんな世の中で幕府を開いた家康はすごいと思いました。これからも家康のみりよくを多くの人に伝えていってください。（Sさん）

先日は、校外学習で徳川家康のことや浜松城の天守閣や石がきのことを教えてくださいありがとうございました。おかげで徳川家康についてのパンフレットを完成させることができました。（Tさん）

みなさんのおかげで浜松城のことや徳川家康のことが良く分かりました。家康が天下統一したひけつが分かってうれしかったです。（Mさん）

浜松城は家康が建てたものではないというのがしょうげきでした。（Hさん）

三方ヶ原の戦いの失敗をいかし関ヶ原の戦いで成功に導いた家康は、すごくてきな人だと思います。（Sさん）

### 【浜松まつり会館でのガイドに対する礼状（白脇小学校2年生）】

いろいろなたこや御殿屋台のことを教えてくれてありがとうございました。浜松まつりのことをもっと知りたくなりました。これからもはままつりときは、たこやごてんやたいを見てみます。本当にありがとうございました。（Tさん）

わたしは、ごてんやたいがいちばんすごかったです。ごてんやたいは12人の人がのれたりどうぶつのがかいてあってすごかったです。（Kさん）

いろいろなたこあげのべんきょうをおしえてくれてありがとうございました。（Uさん）

広報部 植田善和（北ブロック）



井伊谷小お手紙・篠原小はがき



白脇小のきれいな絵手紙

## 会員の交流広場

## 竹炭に魅せられて《里山が憩いの場》

2004年4月浜名湖の村櫛半島で全国花博覧会が開催されました。その折、広い園内にて全国各地から見えたお客様に会場内のガイドをしました。花博が終わりになる頃、すっかり打解けた仲間たちが「これから何かやりたいね」と口にするようになりました。



釜から竹炭を取出す作業

そこでいろいろ試行錯誤し、今、竹林が整備されないで困っていることを知りました。でも誰も竹をどうすれば良いか分からないので一から情報を収集し、やっと竹を切り炭にすることが良いということが分かりました。これを機に「里山クラブ」と名付けて竹炭を焼く会を男女15名のメンバーで立ち上げました。

まず放置竹林になっている高さが15mある孟宗竹を切り倒し、1.5mの長さに切り足場の悪い場所から平地まで担いで何回も運び出して、引佐の山あいの人里離れた場所まで竹を車で搬入します。そこで切り出した竹を割り数日干します。そして炭焼釜(ドラム缶を横に加工したもの)の中に沢山の竹を入れ8~9時間、焚口から木材を入れて火を燃やし続けます。

やっとなり、数日後、冷めた釜を開け黒光りした竹炭の出来上がりです。

現在の会員数は男女12名で月3~4回集って作業をし、昼にはカレーを作り持ち寄りお菓子や飲み物で皆が話を弾ませ、山里の季節の変化を感じながら楽しい一日を過ごしています。いつまでも続けたい私の憩いの場です。

ちなみに竹は炭化すると素材の組織である無数の小さな穴(多孔)が残り、この多孔の凹凸が吸着性に優れており、空気の洗浄や脱臭、水の浄化、湿度を一定に保つ調湿効果を発揮するといわれております。よって家屋の床下に敷いたり部屋において消臭や湿度調節に利用しております。また細かく砕いて土壌改良剤として土に混ぜることもします。



釜から出した竹炭

中ブロック 稲田かつ子

## 会員の交流広場

## 浜松城築城450年記念事業「全部見せます!浜松城プレミアム講座&見学ツアー」に参加して

12月11日浜松市観光・シティプロモーション課主催の標記事業に参加しました。普段は見ることのできない浜松城の裏側が見学できる?家康も食べたかもしれない戦国料理食べられる!?・・・という触れ込みに魅力を感じて、夫婦で申し込んだのですが・・・始まってびっくり。オープニングは、浜松武将隊による戦国太鼓、さらに家康をはじめとして武将隊それぞれによる口上と剣や槍による演武に圧倒されました。

プレミアム講座は文化財課課長;鈴木一有氏による「もっと知りたい浜松城」でした。浜松城を引間城時代から現代まで6段階に分けて歴史的経緯を辿っての解説。CG復元された浜松城の写真や発掘調査による新たな発見等を分かり易くまとめて説明していただきました。圧巻だったのは、3m四方のシートに写し複製された実物大の「青山家御家中配列図」でした。その上に乗って細部まで見せていただきました。



青山家御家中配列図の上で



浜松城裏側の見学

お食事は、地元の旬の食材即ち「浜松パワーフード」でもあり家康や信長・秀吉が好みであったという食材を使って工夫された前菜、家康好みの甘鯛やとろろ飯など、戦国時代を感じる献立「三つ葉葵膳」を楽しみました。

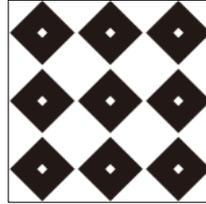
そしてお待ちかねの浜松城裏側見学。天守閣北側の石垣の作りや、通説とは異なる岩石の出所など、鈴木氏の説明を聞きながら八幡台の西側へ回って、埋門跡を見下ろし、八幡台越しの天守閣を眺めました。天候にも恵まれて、誇らし気に見えた浜松城でした。

元城小学校跡の発掘現場では、本丸北東隅の石垣、地震で崩れ落ちたと思われる岩石やかかわらけ、二の丸御殿の礎石や藩主の庭園の説明を受け、往古の浜松城姿を思い描きました。総じてまさにプレミアムな企画でした。

北ブロック 曾布川千佳子

## 浜松城主の家紋 パート 5

### 繫九目結紋 松平資俊(13代) 松平資訓(14・17代) 松平資昌(18代)



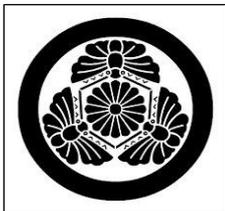
結の「結い」は結ぶという意味で、目結の「目」は、間のことので布地をつまみ、糸で結んで絞り染めにすると、中心に目ができます。つまり目結紋は、染めの模様を目結を象ったものでもあります。

目結を家紋として用いたのは、『源平盛衰記』に登場する佐々木信綱が三つ目結の直垂を着

ていたとあります。この目結紋が後に近江源氏の代表家紋となって次第に家紋として定着していきます。

目結紋はその数によって「一つ目結」、「三つ目結」などと呼ばれて十六目結以上を「滋目結」とい

い、種々の変形された紋様に姿を変えていきます。  
13代浜松城主、本庄松平資俊(すけとし)の家紋は繫九目結紋(つなぎここのつめゆいもん)ともいいます。その後、本庄松平家が18代浜松城主になった松平資昌(すけまさ)が15歳で丹後の宮津へ転封になり初代宮津藩主になるも19歳で没しますが、幕末の松平宗武まで7代本庄松平家がつづきました。



### 丸に三蝶内十六菊紋 松平信祝(15代) 松平信復(16代)

蝶模様は奈良時代から好んで文様に用いられていました。正倉院宝物の遊獵絵模様には、すでに蝶が描かれていました。

平安、鎌倉時代には盛んに衣服、調度品に使用されるようになり源平合戦の頃からは平氏・源氏が好んで家紋に使用される様になり、後世の戦国大名から江戸時代にかけて多くの大名、武家が好んで蝶紋を使用していきます。

蝶紋はその姿によって大別され、飛び蝶、揚羽蝶(一つ揚羽蝶、対い揚羽蝶、三連蝶)、輪蝶(一つ輪蝶、二つ輪蝶、三つ輪蝶)及び蝶星などがあります。

15代浜松城主、大河内松平信祝(のぶとき)の家紋は、三連蝶に真ん中に菊の文様が入っており美しい均整のとれた家紋です。大河内家が後に豊橋の吉田藩主に転封されてから別名、吉田蝶とも言われています。

余談ですが、この大内家の末裔に昭和のお姫様役の女優「河内桃子」が輩出しています。

参考文献／「日本の家紋 6000 より」「知れば知るほど家紋」、浜松市図書館他

研修部 桶田忠正(東ブロック)

★お知らせ★ 当会が、2月23日開催を予定していた「富士山の日記念ウオーク」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を中止しました。今後もコロナ対応にご理解・ご協力をお願いします。

## 1月のガイド活動 《明るく楽しくやらまいか》

「浜松城」・「犀ヶ崖資料館」・「浜松まつり会館」にて、来場者にガイドを行っています。またこの3カ所の他に「浜松市観光インフォメーションセンター(浜松駅構内)」や「家康の散歩道」同行ガイド、各種イベントとタイアップしたガイドなど幅広く活動しています。

#### 《浜松城》

20日 木 ビジット浜松推進事業 HIS 14名  
22日 土 阪急交通社 28名

#### 《犀ヶ崖資料館》

18日 火 浜松市立中部小学校 90名  
21日 金 阪急交通社 28名

#### 《浜松まつり会館》

18日 火 浜松学院高校 28名

## はままつ案内人会報 235号

編集・発行 浜松観光ボランティアガイドの会  
〒430-0946 浜松市中区元城町100-2 (浜松城内)  
TEL&FAX 053-456-1303  
メールアドレス mail@hama-svg.jp  
ホームページ http://www.hama-svg.jp/

はままつ案内人

検索



出世大名 家康くん

出世法師 直虎ちゃん